

韓国における木材産業の原木購入量と製品生産量

(2/2)

3. 木材産業の主な製品生産量

2021年対比2022年には国内建築着工面積の減少（135百万㎡ → 111百万㎡）に伴って建設・建築資材として用いられている合板・ボード類（-7%）の生産量が減少を示した。これに対して新型コロナウイルスの影響で室内で滞在する時間の増加に伴ってインテリアに対する関心及び市場拡大で内装材として使用される化粧用製材品（5.6%）及び木質床材（28.8%）の生産量が増加した。特に木質床材のうち合板床材は前年対比に159.4%、強化床材も同対比に66.4%の生産量の増加を示した。その以外のうち前年対比に生産量が増加した製品は集成材（246.1%）、薪（249.0%）、木材プラスチック複合材（97.8%）、難燃木材（67.1%）などである。生産量が減少した製品は防腐木材（-78.7%）、木材チップ（-49.7%）などである。

製材品の生産量を見うると、製材品の生産量（2022年基準）は前年対比（1,949,797㎡）に1.2%増加した1,972,500㎡を示した。用途別には一般用材が1,231,020㎡（62.4%）と最も多く、次いで構造用材が372,671㎡（18.9%）、化粧用材が368,809㎡（18.7%）を示した。特にインテリア用に使用されている化粧用の生産量が前年対比に19,589㎡（5.6%）と増加したことが主な特徴である。そして具体的な製材品の用途を見うると仮設材用が570,418㎡（28.9%）と依然として最も多く、次いで建築構造材が372,671㎡（18.9%）、建築内装材が332,588㎡（16.9%）、パレット用が281,073㎡（14.2%）などを示した。

合板の生産量を具体的に見ると、2022年基準合板の生産量は前年対比（273,516㎡）に1.9%減少した268,266㎡を示した。仮設材として使用される合板は43.8%を示したが、内装材用の合板は47.3%減少した。用途別にみると、仮設材用が221,757㎡（82.7%）と最も多く、次いで建築内装材が27,209㎡（10.1%）、床材用が8,423㎡（3.1%）を示した。

表-6. 製品生産量の推移

区分	単位	2019	2020	2021	2022	前年対比 増加率 (%)
製材品	m ³	2,015,649	1,899,723	1,949,797	1,772,500	1.2
化粧用	m ³	269,679	362,079	349,220	368,809	5.6
構造用	m ³	305,571	335,200	364,663	372,671	2.2
一般製材用	m ³	1,439,399	1,202,444	1,235,914	1,231,020	-0.4
合板・ボード類	m ³	2,725,319	2,640,635	2,740,085	2,523,738	-7.9
合板	m ³	238,753	231,212	273,516	268,266	-1.9
MDF	m ³	1,649,526	1,643,260	1,677,965	1,470,259	-12.4
PB	m ³	837,040	766,163	788,604	785,213	-0.4
木質床材	m ³	231,130	212,096	192,440	247,919	28.8
合板床材	m ³	121,248	69,835	32,312	83,807	159.4
強化床材	m ³	64,136	23,698	23,018	38,291	66.4
その他	m ³	45,746	118,563	137,110	125,821	-8.2
防腐木材	m ³	22,929	29,323	55,859	11,877	-78.7
難燃木材	m ³	2,467	134	130	217	67.2
木材プラスチック複合材	m ³	6,411	9,436	10,131	20,039	97.8
集成材	m ³	3,153	2,593	2,143	7,417	246.1
木材チップ	ton	2,182,777	1,874,392	1,584,610	796,271	-49.7
パルプ用	ton	853,389	715,355	501,572	294,075	-41.4
ボード類用	ton	233,735	230,868	323,091	21,090	-93.5
燃料用	ton	1,086,757	928,169	698,751	481,106	-31.1
その他	ton	8,896	-	61,196	-	-
木材パレット	ton	284,446	354,594	694,090	719,685	3.7
成形炭	ton	3,418	6,874	5,692	8,900	56.4
炭	ton	8,146	8,047	9,748	4,766	-51.1
木酢液	kℓ	699	688	464	312	-32.8
木屑・木粉	ton	156,193	133,838	217,188	291,164	34.1
薪	m ³	556,161	498,737	292,136	727,437	249.0
パルプ	ton	-	-	493,592	515,000	4.3

表-7. 製材品の生産量

(単位：m³、%)

区分		2019	2020	2021	2022	前年対比 増加率
合計		2,015,649	1,899,723	1,949,797	1,972,500	1.2
構造用材	建築構造材	306,571	335,200	364,663	372,671	2.2
化粧用材	建築内装材	251,759	316,540	327,434	332,588	1.6
	家具用	17,920	45,539	21,786	36,221	66.3
一般用材	仮設材	741,968	681,476	549,251	570,418	3.9
	パレット用	483,795	322,639	308,332	390,724	26.7
	デッキ用・原木床材用	22,397	86,436	64,648	137,611	112.9
	木工産業用	549	929	949	1,044	10.0
	その他	190,690	110,964	312,734	131,224	-58.0

表-8. 合板の生産量

(単位：m³、%)

区分	2019	2020	2021	2022	前年対比 増加率
合計	2,38,753	231,212	273,516	268,266	-1.9
仮設材用	142,664	147,969	154,231	221,757	43.8
建築内装材	44,031	49,359	51,604	27,209	
包装用		3,800	3,762		
家具用	1,930	3,800	3,762		
床材用	38,919	11,284	44,383	8,423	-81.0
その他	11,209	15,000	15,774	10,876	-31.0

MDFの生産量を具体的に見うると、MDFの生産量（2022年基準）は前年対比（1,677,965m³）に12.4%減少した1,470,259m³を示した。MDFは主に家具用として最も多く使用されているが最近新規住宅建築の減少とMDFがPBへ代替することによって生産量が減少している。用途別にみると、家具用が573,940m³（39.0%）と依然として最も多く、次いで床材用が241,923m³（16.5%）などを示した。前年対比に家具用は227,523m³（27.9%）減少して他の製品に比べて減少の幅が大きい。

表-9. MDFの生産量

(単位：m³、%)

区分	2019	2020	2021	2022	前年対比 増加率
合計	1,649,526	1,643,260	1,677,965	1,470,259	-12.4
建築内装材	564,701	701,366	728,346	573,940	-21.2
包装材	-	16,600	15,500	65,894	325.1
家具用	997,651	815,359	816,024	588,501	-27.9
床材用	87,174	109,935	118,095	241,923	104.9

PBの生産量を具体的に見うると、PBの生産量（2022年基準）は前年対比（788,604m³）に0.4%減少した785,213m³を示した。用途別には家具用が全量を占めている。前年対比にキッチン家具は271,312m³と29.4%減少したことに対して一般家具（418,538m³、53.3%）と事務用家具（95,363m³、12.1%）は生産量の増加を示した。

表-10. 製品生産量の推移

(単位：m³、%)

区分	2019	2020	2021	2022	前年対比 増加率 (%)
合計	873,040	766,163	788,604	785,213	-0.4
家具用	873,040	737,207	760,781	785,213	3.2
キッチン家具	499,436	322,066	384,383	271,312	-29.4
一般家具	334,116	325,731	288,997	418,538	44.8
事務用家具	3,488	89,410	87,401	95,363	9.1
包装用	-	28,956	27,823	-	-

木材チップの生産量（2022年基準）は前年対比（1,584,610m³）に49.7%減少した796,271 m³を示した。用途別には燃料用が481,106m³（60.4%）と最も多く、次いでパルプ製造用が294,075m³（36.9%）、ボード製造用が21,090m³（2.6%）などを示した。前年対比に全ての製品で生産量が減少する傾向を見せたが、特にボード製造用は建設・建築景気の下落と原材料の価格上昇などの原因で93.5%減少を示した。

表-8. 木材チップの生産量

(単位：m³、%)

区分	2019	2020	2021	2022	前年対比 増加率
合計	2,182,777	1,874,392	1,584,610	796,271	-49.7
パルプ製造用	853,389	715,355	501,572	294,075	-41.4
ボード製造用	233,735	230,868	323,091	21,090	-93.5
燃料用	1,086,757	928,169	698,751	481,106	-31.1
その他	8,896	-	61,196	-	-

資料：山林庁（2023年12月）. 2022年基準の木材利用実態調査報告書